

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G43

申請日	2025/9/17	承認日	2025/10/3	委員長	印
レジメン登録	2025/10/29	仮承認日		承認者	印

Pemb+SOX	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	Her2陰性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS≧1)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)													
			1	5	8	10	15	20	22	25	35					
キイトルーダ [®] (ペムブロリズマブ)	200mg/body	div	○													
オキサリプラチン	130mg/m ²	div	○													
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投与間隔・休薬期間等：21日＝1コース			← 1コース →													
L-OHPは6コースまで																
【S-G44】 Pemb+S-1に変更。Pembは【S-G43】より数えて35コースまで																

【投与処方例（前投薬など）】

※オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋アロカリス1V＋パロノセトロン1V＋デキサート3.3mg /div 30分
- ③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分
- ④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL＋キイトルーダ /div 30分

⑤ メイン【白】 5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート3.3mg /div 2時間

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

【腎機能低下時の減量方法】

※オキサリプラチン Ccr \geq 20mL/minの場合は、減量の必要性はない
※エスワン Ccr60~80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量
Ccr40~59mL/min 原則として1段階減量
Ccr30~39mL/min 原則として2段階減量
Ccr<30mL/min：禁忌

【副作用による減量基準】

※S-1の内服量 C法

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.25m ²	40mg/回	25mg/回	20mg/回
1.25m ² ≤~<1.5m ²	50mg/回	40mg/回	25mg/回
1.5m ² ≤~	60mg/回	50mg/回	40mg/回

以下に1日用量を記載する

開始投与量(<1.25m²) 80mg/日→1段階減量 50mg/日→2段階減量 40mg/日

開始投与量(1.25≤~<1.5m²) 100mg/日→1段階減量 80mg/日→2段階減量 50mg/日

開始投与量(1.5m²≤) 120mg/日→1段階減量 100mg/日→2段階減量 80mg/日

S-1が中止の場合は、L-OHPの投与も中止する

※オキサリプラチン

好中球減少 \geq G4、FN=G3、血小板減少 \geq G3（PLT7.5万以上に回復）し、1段階減量末梢神経障害 \geq G3の場合はG2以下に回復し1段階減量

初回投与量：130mg/m²

1段階減量：100mg/m²

2段階減量：75mg/m²

3段階減量：50mg/m²

参考文献：KEYNOTE-859試験

G-SOXの試験でのS-1の減量基準を参考になっている